

# 製作を中心とした保育

千葉縣女子師範  
學校附屬幼稚園

渡 邊 き よ

編輯部からのお話で、十一月、十二月向きの製作を中心とした遊びを書けとの事で、お受けはいたしましたものゝ期限は迫つて居ります上に、學校全體の運動會とか競技會とか、二學期は行事多く多忙な爲に充分のべさせて載く事が出来ませんで申譯も御座いませぬが、(一)現在着手しつゝあるもので十一月半ばまで繼續するもの、(二)十一月半ばより十二月半ばまでの計畫について簡單にかへさせ戴きます。

(一) 現在着手中のもの

いつも二學期を迎へる前にあれもこれもと各方面を心配し過ぎて、大した結界になり得ませんので、今年はなるべくあつさり考へる事にとめてまゐりました。九月、十月はなるべく戸外で過される様な豫定をたてましてその自然の遊びから製作へ引き入れ次に製作を主とした遊びにかへ

たいと思ひましたので、自然男女兒の作業も別になりました。

(1) 男兒

十月に入つてからは方々の小學校の運動熱は大したものでした、私の園でも十月に入つてから園兒のみの小運動會を二三回開き、又本校、附屬小學校、幼稚園の合同大運動會が去る二十三日に行はれました。幼兒等にとつて……ことに男兒にはうれしく日でした。昨年は全園兒こぞつて野球熱にうかされてしまひましたが、今年はかけつこ、リレー、其の他のものが盛んに行はれ精一ぱいの力で各幼兒が運動し合ひました。まだ十一月月上旬までは市内小學校役所、會社等にも行はれますのでこれを見に行くのが何より楽しみらしいのです。そこで私はこの運動會を中心とした製作中心の遊びを一ヶ月間繼續させて見る事にいたしま

した。一寸期間が長すぎる様にも思はれましたが、戶外遊びが多く行はれるし人形芝居とか郊外保育とか一週間の内に三日位は全々製作にかゝれない日がありますので、丁度良い材料と思ひ、大運動會の一週間前から着手いたしました。現在では半まで仕事を完成し、毎日面白くながめ合つて居ります。仕事の順序を申し上げます

(一) 大運動會の一週間位前に幼児等と話し合ひをなし大運動會の翌日から製作にかゝる事を約束いたしました。其の間に私はすっかり材料をととのへ幼児には時々旗とか種目とかについて話し合つたり暗示を與へたりして置きました。

(二) 大運動會の翌日は一時間餘りの保育になりましたので着手を見合せ、翌日から着手いたしました。室内の隅にボール紙の臺を置き(一番厚いボール紙全紙二枚をつなぎまわりに一寸角の枠を打ちつけて安定させました)まづ白チョークでラインを引かせてグラウンドを造りました。

(圓形だけは一寸下書きをしておきました)

(三) 粘土を用意して自由に人物を造らせました。出來

上つたものは、見物人がちらほら……會長席の方に校長先生、主事先生が椅子についたまゝ……其の他保護者席のお客様、遊戯をしてゐる女兒、五十米のコースをかけて行くもの四人、ころんでゐるもの一人、ピアノの臺……等一回の製作としては期待した以上のうれしい結果を得ました。

#### (四) 萬國旗造り

これはグラウンドが出來上るとすぐかゝる豫定でありましたが粘土の用意を見た幼児等はすばやく人物製作にかゝつてしまひましたので翌日にまわしました。丁度具合よく實習生練習の板畫がオリムピックの競技會で各國の旗が立てゝありましたので大喜びで造りました。

(五) 第一回では保護者席にも一般見物人席にも又其他にも一ぱい空地がありましたので第二回、三回の粘土製作でこれを補充してまわりました。赤ちゃんをおぶつたお母さん、小僧さん、坐つた人、足をあげ出した人、拍手した人……等簡單に表現出來る幼児等が羨しくなりました。

(六) 粘土製作で出來上つた人物を二三日してから帽子

ユニホーム等のみ採色いたしました（繪具は八月文部省講習會の折使用いたしましたガリバーテンペラ繪具を使用して見ました）次第に賑はふ運動會場の有様を眺めて一同大喜びです。現在こゝまでは進み他組の幼兒も始終かわるく見物に来て喜んでかへります。

（七） まだ後二三回かゝつて人物の補充をしたり又こわしたものと造りかへをしたり、テント張（來賓、保護者席の上に學校名を入れた大きなテントが張られてありましたから 出入口の裝飾、入退場のアーチ、まわりの柵等をめぐらして完成するので御座いますから、すつかり整つてカメラにおさめるのは丁度十一月の半ば過ぎになると思ひます。

反省

思ひ通りに無理なく進展してうれしゅう御座います。始めに私の計畫では、テント張り、ピアノ、柵等は保姆實習生の手でいたすつもりで御座いましたのに見事幼兒の手で仕上りそう御座います、いつもあまりに親切すぎて失敗に終る自分を又しても考へさせられました。幼兒の中には製

作をしながらいろくの話が出来して「野球をしてゐるところにしゃう」とか急に「戦争ごつこのところにしゃう」「飛行機で見物人が來るといゝな」……等と申しますので仕事の都合でもう少し廣い臺をつくり野球のグラウンドも加へて見たいと思つて居りますが十一月下旬から次の計畫にうつらねばなりませんので如何したものかと考へ中で御座います。

(2) 女兒

まゝごと用の人形もすつかり衣裳がへが出来ましたので（保姆實習生の手により）幼兒は十月初めからまゝごと用の食器を粘土製作で造つたり、糸刺繡でテーブル掛け、クツシヨン等の共同製作をしてまゐりました、それで大變刺繡を喜び糸を針に通す事や、糸止めなども一人でやれるものが出来て來ましたし自由畫も氣持よく書ける様になりましたのでこの機會に一人くの製作を記念する爲に手提袋を造つて、二學期の終りには各々の持物を入れて持つてかへる様これも約一ヶ月の繼續作業として計畫を立てました。

材料を申し上げますと、

一、表布Ⅱ男洋服衿しん（クリーム色）一ヤールを四人分

に織りました。

一、裏布Ⅱシンモス（クリーム色）約一尺強

一、毛糸Ⅱ中細のいろく

御参考までに費用を申し上げますならば大抵一人が十二三錢で出来るかと思ひます（毛糸の使用量がまちまちではつきり申し上げられません）

右の材料で十月上旬から始め下書きに一日を取り（クレオンにて）其の後は自由に少しづつやつてまゐりました。糸がからんだり、つれたりいたしません者もありますので一回五、六人位しが目が通されませんで保姆實習生で相當忙しい思ひをいたしましたが只今では<sup>2</sup>/<sub>3</sub>は出来上りました出来上つたものは保姆、實習生の手によつて裏をつけ完全な袋に仕上げて二學期の終りまでに間に合はせるつもりで御座います。

反省

氣候の良い時に室内に於て細い仕事をする事はどうかと

思ひましたが、大變幼児が喜んでする事ではあり、三學期には又別の事も考へてありますのでうく決定着手いたして見ましたが案外具合よくまゐりまして、朝のうちまゝごとのお友達を待ち合せるとか、まゝごとを始める前、丁度顔も氣も揃つた時……等又は食事の後等に具合よく時を見付けて無理なく仕事が始められますのでやつと安心いたしました。三學期には他の製作の間に自由に皆の合作で大きな敷物でもつくり幼稚園の記念にしたいと考へて居ります。

以上簡單では御座いますが十一月下旬までの大體の御報告が終りましたので一寸筆を止める事にいたします。

(七、一〇、三〇)

×

×

×

×